

# 道母連だより

## 新年を迎えて



北海道知事  
鈴木直道



新年あけましておめでとうござ  
います。

社会福祉法人北海道母子寡婦福  
祉連合会の皆様におかれまして  
は、健やかに新年をお迎えのこと  
とお慶び申し上げます。

また、日頃から、ひとり親家庭  
の福祉の向上や自立促進にご尽力  
いただいておりますことに、深く  
感謝申し上げますとともに、この  
度、「道母連だより」が、記念す  
べき100号を迎えられましたこと  
を、心からお祝い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、  
3年を超える長期にわたり、私た

ちの生活に大きな影響を及ぼして  
きた新型コロナウイルス感染症の  
5類感染症移行という大きな節目  
を迎えました。これまでの感染症  
対策などにご理解とご協力をいた  
だきましたことに、改めて心から  
感謝申し上げます。

社会経済活動が活発化する一  
方、物価高騰が長期化するなど、  
道民の皆様が暮らしや事業者の  
方々の経営環境に大きな影響が及  
ぶ中、道では、価格高騰等経済対  
策を講じるなど、暮らしの安心の  
確保を最優先に取り組んでまいり  
ました。

また、6月に「こどもまんなか

### 第100号

発行日/令和6(2024)年1月1日  
発行/社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会  
〒060-0031  
札幌市中央区北1条東8丁目 北海道母子福祉センター内  
電話 (011) 261-0447  
●題字は山高しげり先生 ●印刷 樹アイワート

応援サポーター」を宣言し、妊婦  
や子ども連れの方に配慮する「こ  
どもファスト・トラック」に全て  
の道立施設で取り組むなど、子ど  
もたちや子育て中の方々に寄り添  
う機運の醸成を図るとともに、道  
管住宅への子育て世帯の優先入居  
枠の拡充や道の施策への子ども等  
の意見の反映に取り組むなど、子  
育て支援の充実に取り組んでまい  
りました。

道といたしましては、今後とも、  
道民の皆様のご意見を丁寧にお聞  
きし、国や市町村との連携を強化  
しながら、子ども応援社会の実現  
に向けた取組を進めてまいります  
ので、引き続き、皆様のご理解と  
ご協力を賜りますようお願い申し  
上げます。  
本年が、皆様にとりまして、希  
望に満ちた素晴らしい年となりま  
すよう心からお祈り申し上げます。  
新年のご挨拶といたします。

### 理事に就任して

理事 甲谷 由美子  
(苫小牧風花の会 理事長)

この度、令和5年度北海道母子  
寡婦福祉連合会の役員改選にあたり  
理事の役をお引き受けいたしました。  
した。

私の中では、コロナ禍の現状で  
苫小牧風花の会の運営、人材確保  
と共に就労の場の確保等、地元  
課題が山積したなかでの承諾は無  
理との結論でした。

断ることを前提に風花の会の顧  
問に報告をいたしました。顧問よ  
り、風花の会は会員たちの子ども  
達が奨学金を頂いたり、全国のい  
ろいろな研修に参加し各単位の  
皆さんと交流し勉強をさせて頂い  
たことを、次の役員へ繋げる期間  
と思い引き受けるように説得をさ  
れました。

繋ぎの役目と思えば少し気持ち  
が軽くなり今期の理事を承諾いた  
しました。

みなさまのご支援とご指導を頂  
き努力を惜しまず務めさせて頂き  
ますので、よろしくお願いいたし  
ます。



明けましておめでとうございませす。新しい年を迎え、今年こそはよい年にしたいと願ひ乍ら、みなさまの家族の方々が明るく過ごせませすことを祈っています。

機関紙「道母連だより」が100号を迎える、幸先のよい一年になりました。昭和51年、再刊発行から綴り続けて、道母連の歴史を物語ってきたのではと、その時々広報部の先輩に感服の至りです。100号の勢いに乗って新年をスタートして行きたいと考えますが、会員の高齢化、ひとり親家庭の未加入、地区母連の解散、単位の休会など問題は山積しています。ないがしろにはしませんが、子どもは成長しています。前を見て、奨学金給付事業を「知らなかった！」という未加入のひとり親家庭がいないう、地区母連、単位のみなさんをお願いしたいところ

です。

六月開催予定の道母連研修会も(旧全道単体会長会議)呼称を変えてから、初の開催、道内の会員みなさんに集う機会を設けコロナ禍後、団体のあり方も変化してきていると思います。その取組みについての意見等も頂戴できればと考えます。静から動へと変っていかなければと、前進してまいります。各事業所とも、コロナの自粛生活が続き、日々緊張の連続でしたが、気持ちゆとりの明るさを感じられるようになりました。

たくさんの事業を何十年も継続できていることは、誠実に働いている職員のお蔭と感謝しています。今後とも、道母連だよりが、人と人をつなぎ、広まっていくことを願って、道母連を支えているみなさんに感謝を忘れず、前進する一年にしたいと思ひます。

### 道母連だより100号のあゆみ

#### 昭和

- 35年 8月 52号 社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会発足
- 11年3月 53号 堀達也北海道知事「母の優しさに支えられて」
- 10月 54号 北海道はまなすの会解散
- 13年3月 57号 北海道功労賞受賞記念 堀達也北海道知事「贈ることば」活字を大きく読みやすい紙面に変更
- 51年11月 1号 「道母連だより」再刊1号発行
- 53年8月 5号 道立病院院内保育所業務委託事業開始10ヶ所
- 55年5月 13号 道母連結成25周年記念誌「やまふところ」第1集発行
- 56年12月 18号 北海道集中豪雨被害(8月)被災調査及び見舞金配分報告
- 58年8月 33号 横路孝弘北海道知事就任のごあいさつ
- 60年6月 37号 道母連結成30周年記念誌「やまふところ」第2集発行

#### 平成

- 元年2月 30号 「道母連だより」30号記念座談会(歴代広報担当者8名) 30号継続のかけに
- 2年7月 33号 道母連結成35周年記念座談会(行政関係・道母連役員11名) 結成35周年回顧と展望
- 4年8月 37号 用紙印刷の色を優しいグリーンに変更
- 6年1月 42号 新千歳空港カフェテラス Boren オープン
- 7年10月 45号 臨時増刊号 北海道南西沖地震お見舞いとお礼状
- 9年1月 48号 「道母連だより」1部10円の有料化
- 7年10月 49号 道母連結成40周年記念特集号
- 9年1月 50号 平中忠信氏(前道共募事務局長)「道母連だよりの変遷」
- 10年2月 51号 北海道母子福祉センター落成祝賀会
- 9月 50号 新千歳空港三上頭一郎相談役を囲んで懇談会(9名)
- 4月 49号 「綴りつづけて50号」歴代広報担当者
- 10年2月 51号 町村信孝文部大臣へ児童扶養手当削減阻止陳情
- 8月 52号 清掃事業30周年記念関連
- 11年3月 53号 社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会発足
- 10月 54号 堀達也北海道知事「母の優しさに支えられて」
- 13年3月 57号 北海道はまなすの会解散
- 10月 58号 北海道功労賞受賞記念 堀達也北海道知事「贈ることば」活字を大きく読みやすい紙面に変更



## 道東

帯広市つくし会

久保 千鶴

開催日 令和5年11月12日(日)  
場所 ホテルテトラリゾート十勝川  
参加数 59名



道東各地から参加の方々

「最近の特殊詐欺について」と題し、釧路方面本部帯広警察署生活安全課の別紙幸治氏を講師に迎え、講演を拝聴させて頂きました。まず始めに「チャートでわかるだまされやすい手口」を、参加者全員が行い、自分のココロの弱点を知るが出来た所から詐欺の手口10種類について、スライドを使い学びました。オレオレ詐欺以外にも、こんなに沢山の詐欺が巧妙かつ多様化している事に驚き、詐欺被害者の年齢も独居老人、資産財産が沢山ある方が被害に遭いやすい傾

向にあるような気がするから、お金の無い「自分は大丈夫」は、SNS 社会の現代において、もはや幻想であり、「自分は大丈夫」こそ危険である事を、自分自身の過去の出来事に照らしあわせながら、再認識する事が出来ました。詐欺と気付かなくても、おかしいなと思う心が大切、そして恥かしい格好悪いと隠さず、まずは周りの人に聞いてみる、相談してみる、さらには詐欺についての記事やニュースを他

人事と思わず、手口に関心を持ち知識を身につける事が被害を未然に防ぐ事だと教えて下さいました。  
最寄りの警察署に24時間つながる相談専用ダイヤル「#9110」は早速登録しました。



講師の帯広警察署 別紙幸治氏

## 道南

江差母子会

加澤優香子

開催日 令和5年9月30日(土)  
場所 江差町役場会議室他  
参加数 58名



江差追分会正師匠棚橋氏の江差追分、ソーラン節を満喫

さわやかな秋晴れの中、全道4ブロック研修会(道南地区)が檜山の江差町で開催されました。開会式には、江差町照井町長に出席していただき、歓迎のメッセージによりスタートしました。  
最初の講話では、江差保健所管理栄養士である児玉氏を講師に招き、「栄養バランスのとれた食生活」と題し、誰にとっても身近な食について特にタンパク質摂取の必要性やフレイル対策、減塩のコツ等についてわかりやすく解説していただきました。



道南広域からの参加者と講師の管理栄養士 児玉佑未子氏

続いて、行程を二手に分けました。「施設見学」では、江差町教育委員会学芸員宮原氏の案内により、旧檜山爾志郡役所・いにしえ街道の見学や散策を行い、「追分体験」では、江差追分全国大会優勝者による歌唱指導を受けました。  
最後に、参加者は江差追分会館に集合し、江差追分会正師匠である棚橋氏による前唄・本唄・後唄を通して江差追分、ソーラン節の熱唱では会場が一つとなり大変盛り上がりました。  
新型コロナウイルス感染症は五類に移行しましたが、遠方よりはるばるお越しくださった会員の皆様には深く感謝申し上げますとともに、本研修会が無事終了できたことに厚くお礼申し上げます。

# 研修会報告

テーマ 守ろう地域の輪

## 道 央

当別町母子寡婦会

高澤 陽子

開催日 令和5年10月14日(土)  
場 所 当別町総合保健福祉センター  
参加数 20名



子ども達も一緒に作りました



昼食用、お土産用が完成です



胸の運動、息を一杯吸い込んでいるかな？

秋晴れの中、各地から20名の参加で研修大会が開催されました。開会式の後4班に分かれ、子ども達も参加して焼きそばとたこ焼きを作りました。事前に食材やパックなどを準備されていたので、皆さん手際よく調理を進めました。昼食には皆さんで作った焼きそばとたこ焼き、豪華な仕出し弁当、そしてデザート、杏仁豆腐が並べられお腹も心も満腹になりました。

の回し方、足の動かし方に正しい動かし方があり、今までいかに間違っていた体操をしていたか気付かされました。ラジオ体操第一・第二を正しくできるよう2時間をかけて何度も繰り返し練習をし、だいたい習得出来ました。ただ、途中から肩の周りは限りなくだるく、段々と腕が上がらなくなり日頃の運動不足を思い知りました。これから冬の季節、家の中でも簡単にできる運動なので、これを機に続けられたらと思います。最後に、身体を使った研修会はとても楽しく和やかで、参加して本当に良かったと思えました。

## 令和5年度 ブロ 全国统一 つなごう人の輪、



講師の宮里友梨氏  
寡婦世代にも大変参考になりました

## 道 北

富良野市白菊会

加藤礼美子

開催日 令和5年10月8日(日)  
場 所 富良野市文化会館  
参加数 23名

コロナも落ち着きを見せている紅葉の時期に開催いたしました。

午前中は、北海道財務局旭川財務事務所宮里友梨氏による「子育て世代に役立つお金の話」と題し、悩みどころである教育費用の為、資産運用の知識を分かり易く説明していただきました。貯蓄・投資・学資保険・国債等、興味のある内容でした。今年から始まる「新しいNISA」についても何が変わるのか、寡婦世代にも大変参考になりました。

午後は、富良野市総務部スマー

トシテイ戦略室の鶴飼敏行氏による「楽しく生きるために：」で手品あり、歌ありで、人付き合いの極意を教わりました。人と接する時の言葉の引き出しの使い方、すぐに使えるいい言葉はプラスの引き出しに入れ、ちょっと時間がかかる言葉はマイナスの引き出しに分けることが大事との事。相手の良いところを見つけて、人付き合いをすれば、楽しく生きることが出来るのではないかと。参加者を退屈させない話術で、時には手品や歌で盛り上げていただきました。コロナ禍が長かった3年余りで人と人とのかわりが問われる今、何かの参考になっていた。参加された上川・留萌・宗谷管内の方々のご協力の下、和やかに終了することが出来ました。とに感謝申し上げます。



講師の鶴飼敏行氏  
手品や歌もあり楽しく研修出来ました

### 第67回東北・北海道地区 母子寡婦福祉研修大会に 参加して

開催日 令和5年9月2～3日  
場所 秋田キャッスルホテル  
函館市母子寡婦福祉会

東 佳子



道母連代表で発表の  
東佳子さん

本大会の研修討議では道母連代表として「目指そう自立、活かそう支援策」とのテーマで発表させていただきました。助言者の方からは、多様な制度がある中で自分の状況や思いに合った制度を見つけて活かすことが出来て良かった、子育てしながらの資格取得への配慮として託児利用できるものがあること等、私自身はもちろん、研修に参加されている方々にも参考となる助言でした。

今回の研修大会のメインテーマは「つなごう人の輪、守ろう地域

の輪」でしたが、研修に参加させていただく度に、同じ志や環境、そして経験からのアドバイスや励ましを受けられることがあり、「参加してよかった!」と思っています。



道母連から参加の方々 東北の方々も一緒に

各地域の活動や取組みを聞くことは、自分の地域で必要とされていることは何なのか、どうすれば助けを必要としている人に必要な支援を届けることが出来るのか、今、自分たちに出来ることは何なのかということのヒントや具体的な策を得ることが出来ます。何より、人の温かさに触れることで元氣と勇気をもらうことが出来ます。国や地域、そして一人ひとりがそれぞれの役割を考え、人と人が思いやりの気持ちでつながろうと行動すること、今、自分が出来ることを小さな一歩で良いので踏み出すことから始まると思います。

### 令和5年度全国母子寡婦 研修大会に参加して

開催日 令和5年11月18・19日  
場所 長崎県佐世保市  
安平町母子寡婦会  
鳥越真由美



講師の田島光浩氏

4年振りに一堂に会した開催となる研修大会参加について報告いたします。一日目は地元九州文化学園吹奏楽部の演奏に始まり、開會式、行政説明、研修討議。二日目は障がい者支援事業運営の南高愛隣会理事長で医師の田島光浩氏による講演、大会宣言・決議、地元佐世保市の3チームによるよさこい演舞、閉會式では次回開催地・富山県からの挨拶で閉幕しました。



地元佐世保市のよさこい演舞

- ① 行政説明・こども家庭庁
- ② 研修討議・発表(6名)
- ③ 講演・田島光浩氏
- ④ 参加者の状況
  - ・道母連所属団体からは6名参加
  - ・高齢者が多かった
  - ・地区研修大会を兼ねている状況(次年も)に毎年開催が必要なのかとの疑問を感じた
- ⑤ 大会参加を通して感想
  - ・当事者団体としての責任。制度活用には行政(自治体)との協力体制が必要と改めて感じました。

◎当事者団体として相互支援がなされていると感じた

◎共有したい事として

・こどもの意見(思いや願い)を聞く環境形成が必要

・活動において青年期は支援の提供者であることを伝えていく





8月9日、猛暑の中、今年も大きなトラックでライオンズクラブの皆さんが届けてくださいました

ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区  
子ども笑顔応援プロジェクト

**石狩・空知地区母子会員に  
60箱の【宝箱】をいただきました!**

昨年に引き続き今年度も、8月9日と12月6日の2度に亘り各60箱の食糧支援をいただきました。長引いたコロナは5類に移行しましたが、終わりの見えない物価高騰は母子家庭の生活を直撃しています。猛暑が続いた夏にいただいたカップラーメンやレトルト食品にお母さんは、「助かります…」と感謝し、子ども達はジュースやお菓みに歓声を上げていました。



盛りだくさんのプレゼントに大喜び、子ども達にはチューパッピーが人気です!



江別市母子会小高久子会長から感謝状贈呈  
他の単位会からもお贈りしました



60箱の贈呈式  
設楽幸子ガバナーから畑和子理事長へ

**編集後記**

道母連母子福祉振興基金へ  
ご芳志ありがとうございます

基金累計額(令和5・11・30現在)

一一二、〇一七、四三七円

昭和51年、再刊第1号発行の道母連だよりは、爾来47年の歳月を歩み、令和6年新年号で100号を迎えました。

あゆみを作成するにあたり、99号すべてに目を通しました。携帯電話もパソコンもなく、交通も不便な時代に、どれほどの知恵を結集し、どれほどの情熱で臨まれたかに思いを巡らせ感銘を受けると同時に、錚々たる顔ぶれの企画・編集に羨ましさを感じました。

長引いたコロナ禍、道母連・地区母連・単位会すべての事業や活動が停滞した3年間も、道母連だよりは年2回発行を守り続けました。掲載する記事不足の中、苦肉の策で4号に亘った延べ99名の「子どもたちの笑顔」は、会員の方ばかりでなく全国の方々にも喜んでいただき、明るい未来を期待させてくれました。

未だ不十分とは言いながら国の福祉政策は、道母連発足時に比べると手厚くなっているように感じます。単位会・地区母連・道母連の存在意義は時代と

令和5年度共同募金助成金は、4ブロック研修会、広報紙発行に充当させていただきました。

ご報告し、お礼を申し上げます。

共に変化していますが、だからこそ、目に見えない支え合い、寄り添うことの必要性を、今こそ示す時なのです。

終わりの見えないコロナに耐えて3年、多少の落ち着きに安堵したのも束の間、食品、生活用品の止まることない物価高騰は、弱い立場の母子寡婦家庭を直撃しています。

令和7年には、道母連結成70周年を迎えます。可能性を秘めた若いお母さんと未来を拓く子ども達、そして経験豊かな頼もしい寡婦軍団が力を合わせ、今一度、世代を超えて寄り合う、居心地の良い母子寡婦会を目指しましょう。

道母連だよりは100号を節目として新たなアイデア、工夫を重ね、多くの方々のご協力をいただきながら、道母連の発展と共に、今後も力強く歩み続けることを願って止みません。

広報部 田中 京子 青木枝美子  
原田さつき 安達 史子